



目次

- 改訂情報
- はじめに
 - 本書の目的
 - 対象読者
 - 本書の構成
- 概要
 - intra-mart Accel Documentsとは
 - 特徴
 - 用語
- オブジェクトモデル
 - オブジェクトの種類
 - アクセス権
 - 属性
- クラス
 - クラス
 - キャビネット
 - ドロワ
 - フォルダ
 - 文書
- セキュリティ定義
- 保管定義
- ユーザ（サブジェクト）
 - intra-mart Accel Documentsを利用するユーザの種類
 - intra-mart Accel Platformの認可との対応
- タグ
- 通知
- 文書公開
- プリファレンス
- 操作履歴
 - 文書管理画面の操作で記録される操作履歴
 - キャビネット管理画面の操作で記録される操作履歴
 - メンテナンス管理画面の操作で記録される操作履歴
 - ジョブ実行で記録される操作履歴

改訂情報

変更年月日	変更内容
2013-04-01	初版
2013-10-01	第2版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「オブジェクトモデル」の説明を修正しました。 ▪ 「セキュリティ定義」を追加しました。 ▪ 「文書公開」の説明を修正しました。 ▪ 「タグ」の説明を修正しました。
2015-03-13	第3版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「クラス」-「キャビネット」の説明を修正しました。 ▪ 「クラス」-「文書」の説明を修正しました。 ▪ 「保管定義」を追加しました。 ▪ 「プリファレンス」の説明を修正しました。
2016-08-01	第4版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「オブジェクトモデル」-「アクセス権」と「属性」の説明を修正しました。 ▪ 「クラス」-「キャビネット」と「文書」の説明を修正しました。 ▪ 「保管定義」の説明を修正しました。 ▪ 「ユーザ (サブジェクト)」の説明を修正しました。 ▪ 「プリファレンス」の説明を修正しました。 ▪ 「操作履歴」を追加しました。
2016-12-01	第5版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「オブジェクトモデル」-「属性」の説明を修正しました。
2018-12-01	第6版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「クラス」-オブジェクトの名前属性に設定できる文字の説明を修正しました。

はじめに

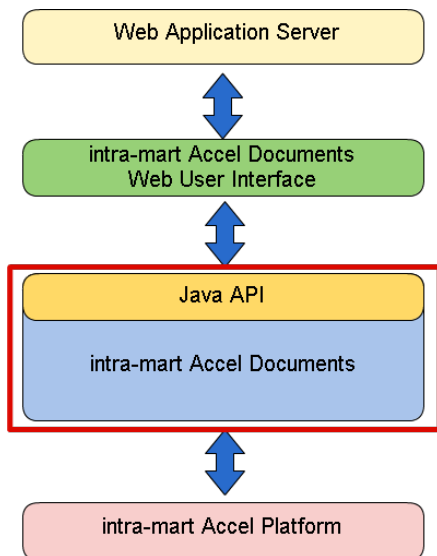
目次

- 本書の目的
- 対象読者
- 本書の構成

本書の目的

intra-mart Accel Documentsの構成は、役割によって大きく2つのレイヤに分かれます。

- intra-mart Accel DocumentsのWebユーザインターフェースを提供するアプリケーションレイヤ
- intra-mart Accel Documentsで 文書などのオブジェクトを体系的に一元管理する基幹レイヤ



基幹レイヤは、JavaによるAPIで機能を公開しています。本書では、「intra-mart Accel Documents」の基幹レイヤにおける概要とオブジェクトモデルについて説明します。

注意

intra-mart Accel Documentsの基幹レイヤで提供している仕様は、intra-mart Accel DocumentsのWebアプリケーションで提供している仕様と、異なる場合があります。

コラム

intra-mart Accel Documentsを利用したプログラミングについては、次を参照してください。

- 「intra-mart Accel Documents/ プログラミングガイド」
- 「intra-mart Accel Documents/ JavaDoc」

対象読者

本書では、次の利用者を対象としています。

- intra-mart Accel Platformを理解している
- intra-mart Accel Documentsを理解している
- 次の条件を満たす、intra-mart Accel Documentsを利用する開発者
 - Javaプログラミング言語を理解している開発者

本書の構成

- **概要**

intra-mart Accel Documentsの位置づけや特徴について説明します。

- **オブジェクトモデル**

intra-mart Accel Documentsにおける ドロワや フォルダなどの基本的な構造について説明します。

- **クラス**

クラスは フォルダや 文書のようなオブジェクトの種別です。

intra-mart Accel Documentsに登録できる クラスについて説明します。

- **セキュリティ定義**

intra-mart Accel Documentsの セキュリティ定義について説明します。

- **保管定義**

intra-mart Accel Documentsの 保管定義について説明します。

- **ユーザ (サブジェクト)**

intra-mart Accel Documentsにおけるユーザ制御について説明します。

- **タグ**

intra-mart Accel Documentsのタグについて説明します。

- **通知**

intra-mart Accel Documentsの通知について説明します。

- **文書公開**

intra-mart Accel Documentsの文書公開について説明します。

- **プリファレンス**

intra-mart Accel Documentsのプリファレンス機構について説明します。

- **操作履歴**

intra-mart Accel Documentsの操作履歴について説明します。

概要

目次

- [intra-mart Accel Documentsとは](#)
- [特徴](#)
- [用語](#)

intra-mart Accel Documentsとは

intra-mart Accel Documentsでは、「クラス」や「属性」などの定義を用いて、文書を管理することができます。

アクセス権を設定することで、組織を横断して文書を共有したり、文書を表示・ダウンロードできる組織を限定したりできます。さらに、属性検索などの文書の利用性を高める機能を提供しています。

特徴

intra-mart Accel Documentsには、次の特徴があります。

- 文書の種別をあらわす「クラス」を定義することで、文書の内容に応じた管理を行うことができます。
- 文書の特徴をあらわす「属性」を定義することで、検索の性能を向上させ、効果的にデータを活用できます。
- アクセス権設定や、セキュアダウンロード機能、保管機能で重要な情報の漏洩や紛失を防止するとともに、セキュリティに応じた情報の共有ができます。
- 文書の版管理ができるため、古い版の文書が誤って利用されることを防げます。
- タグを活用することによって、よく利用する文書を効率的に活用することができます。
- 通知機能を活用することで、文書の登録や更新を効率的に知ることができます。
- intra-mart Accel Platformのライセンスを持たない社外ユーザに対して、文書を公開することができます。

用語

- **オブジェクト**
intra-mart Accel Documentsに登録されるフォルダや文書などの総称です。
- **オブジェクトモデル**
intra-mart Accel Documentsに登録されるフォルダや文書などの基本的な構造です。
- **クラス**
ドロワ内に登録されるフォルダや文書などのオブジェクトの種別を定義したものです。
クラスには基本クラスや基本クラスを拡張してカスタマイズすることができる派生クラスがあります。
- **キャビネット**
文書管理の基本的な管理単位です。
詳細は「[クラス](#)」-「[キャビネット](#)」を参照してください。
- **ドロワ**
キャビネットの下に登録できる入れ物です。
詳細は「[クラス](#)」-「[ドロワ](#)」を参照してください。
- **フォルダ**
文書や他のフォルダをまとめて保管するための入れ物です。
詳細は「[クラス](#)」-「[フォルダ](#)」を参照してください。
- **文書**
テキストファイル、イメージデータファイル、DocuWorks文書やPDFなど、さまざまな形式の文書です。
詳細は「[クラス](#)」-「[文書](#)」を参照してください。
- **タグ**
フォルダや文書に付加することができる付箋です。
タグには共有タグ/個人タグがあります。
詳細は「[タグ](#)」を参照してください。

オブジェクトモデル

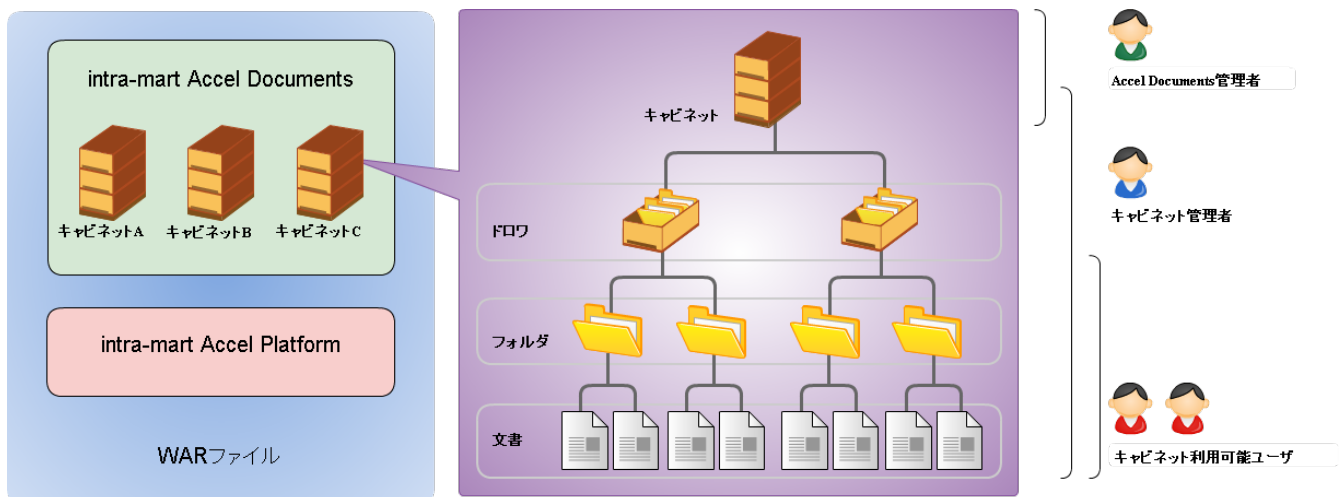
目次

- オブジェクトの種類
- アクセス権
- 属性

オブジェクトの種類

ここでは、intra-mart Accel Documentsにおける、キャビネット、ドロワ、フォルダなどのオブジェクトの種類について説明します。

- intra-mart Accel Platformのテナント単位で intra-mart Accel Documentsが導入できます。
- intra-mart Accel Documentsの管理者には、次の2種類があります。
 - Accel Documents 管理者
テナント内の intra-mart Accel Documents全体を管理します。
キャビネットの作成や、削除、作成した キャビネットに キャビネット管理者を設定することができます。
 - キャビネット管理者
Accel Documents 管理者が作成した キャビネットを管理します。
キャビネットを利用できるユーザの設定や、複数の ドロワを作成することができます。
- ドロワには フォルダと 文書を階層的に格納することができます。
- ドロワや フォルダ、 文書に対して、アクセス権や 属性を設定することができます。
- ユーザごとにごみ箱を用意しています。



アクセス権

intra-mart Accel Documentsでは、オブジェクトのアクセス権管理を提供します。

アクセス権は、intra-mart Accel PlatformのIM-共通マスタで管理される次のサブジェクト単位ごとに設定できます。

- 会社／組織
- 組織 + 役職
- パブリックグループ
- パブリックグループ + 役割
- ロール
- ユーザ

サブジェクトの詳細については、「[IM-共通マスタ 管理者操作ガイド](#)」を参照してください。

- アクセス権の種類

intra-mart Accel Documentsで管理されたオブジェクトには、下記の アクセス権を設定できます。

アクセス権	識別子	説明
属性取得権	kn:READ_ATTRIBUTES	オブジェクトの属性情報を取得する権限です。
属性変更権	kn:WRITE_ATTRIBUTES	オブジェクトの属性情報を変更する権限です。
操作履歴取得権	kn:READ_EVENTS	オブジェクトの操作履歴情報を取得する権限です。
ACL取得権	kn:READ_ACL	オブジェクトのアクセス権情報を取得する権限です。
ACL変更権	kn:WRITE_ACL	オブジェクトのアクセス権情報を変更する権限です。
削除権	kn:REMOVE	オブジェクトを削除（オブジェクトのごみ箱への移動、ごみ箱からの復元、ごみ箱からの削除）する権限です。
バージョン取得権	kn:READ_VERSIONS	オブジェクトのバージョンを取得する権限です。
バージョン追加権	kn:CREATE_VERSIONS	オブジェクトにバージョンを追加する権限です。
バージョン削除権	kn:REMOVE_VERSIONS	オブジェクトのバージョンを削除する権限です。
継承ACL取得権	kn:READ_INHERITED_ACL	1つ上の階層のアクセス権情報を取得する権限です。
子オブジェクト取得権	kn:READ_CHILDREN	ドロワや フォルダの直下に作成されているオブジェクト情報を取得する権限です。
子オブジェクト追加権	kn:ADD_CHILDREN	ドロワや フォルダの直下にオブジェクトを作成する権限です。
子オブジェクト削除権	kn:REMOVE_CHILDREN	ドロワや フォルダの直下に作成されているオブジェクトを削除する権限です。
コンテンツ取得権	kn:READ_CONTENTS	ドロワや フォルダの直下に作成されているオブジェクトのコンテンツ（ファイル）を取得する権限です。
ロック権	kn:LOCK	他のユーザによって変更されないように 文書をロックする権限です。
ロック解除権	kn:UNLOCK	文書のロックを解除する権限です。
文書公開権	kn:SHARE_DOCUMENTS	文書を公開する権限です。 ただし、キャビネットの文書公開機能設定が優先されます。

! 注意

intra-mart Accel Documentsのアクセス権は、intra-mart Accel DocumentsのWebアプリケーションで設定する読み取り権、書き込み権、または管理権に、それぞれ次のように含まれます。

intra-mart Accel DocumentsのWebアプリケーション	intra-mart Accel Documents
読み取り	属性取得権 ACL取得権 バージョン取得権 継承ACL取得権 子オブジェクト取得権 コンテンツ取得権
書き込み	属性取得権 属性変更権 ACL取得権 バージョン取得権 バージョン追加権 継承ACL取得権 子オブジェクト取得権 子オブジェクト追加権 子オブジェクト削除権 コンテンツ取得権 ロック権
管理	属性取得権 属性変更権 操作履歴取得権（※ ユーザ自身が操作した履歴であれば、「管理」権がなくても取得することができます） ACL取得権 ACL変更権 削除権 バージョン取得権 バージョン追加権 バージョン削除権 継承ACL取得権 子オブジェクト取得権 子オブジェクト追加権 子オブジェクト削除権 コンテンツ取得権 ロック権 ロック解除権 文書公開権

属性

intra-mart Accel Documentsに登録されたオブジェクトには、属性を設定できます。

- 特徴
 - 属性値が変更可能かどうかなどの特性（属性の特性）を設定できます。
 - 用意されている属性以外に、運用にあわせて独自の属性を作成できます。独自の属性は、キャビネット管理者が作成します。
 - 属性ごとに属性値制約（入力可能な値の範囲など）を設定できます。

コラム

独自の 属性を作成した場合、IDに、属性の識別子のプレフィックスとして「knc_attr:」という文字列が付加されます。

■ 要素

属性には、次の要素があります。

要素	説明
ID	属性を識別する識別子です。
名前	属性の名前です。
型	属性に指定できる値の型を定義します。詳細は「型と制限」を参照してください。
制限	属性に指定できる値の制限です。詳細は「型と制限」を参照してください。
必須フラグ	必ず指定が必要な 属性かどうかを判別するためのフラグです。
システム管理フラグ	システムが自動的に設定する 属性なのか、ユーザが入力する 属性かをあらわすフラグです。

■ 型と制限

intra-mart Accel Documentsに定義されている 属性定義の型と制限について、説明します。

型	説明	制限
文字列	文字列で指定します。	0～2,000文字 (合成文字、サロゲートペアは2文字として数えます)
ブーリアン	真偽値 (true または false) で指定します。	
日時	年、月、日、時、分、秒、ミリ秒で指定します。	0001/01/01 00:00:00.000 ~ 2999/12/31 23:59:59.999 (UTC) ただしWebアプリケーションから登録する場合はカレンダーの制限により以下の範囲となる。 1970/01/01 ~ 2999/12/31
整数	32ビットの整数で指定します。	-2,147,483,648 ~ 2,147,483,647
長整数	64ビットの整数で指定します。	-9,223,372,036,854,775,808 ~ 9,223,372,036,854,775,807
固定小数点	精度が36で位取りが18の符号付き固定小数点数で指定します。	- 999999999999999999.999999999999999999 ~ 999999999999999999.999999999999999999

型	説明	制限
UG識別子	<p>ユーザを識別するIDです。次のプレフィックスに intra-mart Accel Platformのサブジェクトのコードをあわせた文字列で指定します。</p> <ul style="list-style-type: none">■ 組織のプレフィックス <i>kn_department:</i>■ 役職のプレフィックス <i>kn_post:</i>■ パブリックグループのプレフィックス <i>kn_public_group:</i>■ パブリックグループ役割のプレフィックス <i>kn_public_group_role:</i>■ ロールのプレフィックス <i>kn_role:</i>■ ユーザのプレフィックス <i>kn_user:</i>	



コラム

サブジェクトのコードについては、「[IM-共通マスタ 管理者操作ガイド](#)」を参照してください。

クラス

目次

- クラス
- キャビネット
- ドロワ
- フォルダ
- 文書

クラス

クラスは、フォルダや文書のようなオブジェクトの種別を定義したものです。

- 特徴
 - クラスは キャビネット管理者が キャビネットごとに作成します。
 - クラス名前や説明などの属性を持つことができます。
 - 基本クラスを継承して、新しい クラスを作成できます。
基本クラス以外の クラスを継承することはできません。
intra-mart Accel Documentsでは、基本クラスとして、「フォルダ」、「文書」、「セキュア文書」クラスがあります。
- 要素
クラスには、次の要素があります。

要素	説明
ID	クラスを識別するIDです。
名前	クラスの名前です。
属性	クラスの 属性です。
基本クラスフラグ	基本クラスかどうかを示すフラグです。 基本クラスの場合、trueを指定します。

キャビネット

intra-mart Accel Documentsの基本的な管理単位です。

- 特徴
 - Accel Documents 管理者によって作成し、管理します。
 - キャビネットを管理する キャビネット管理者、アクセスできる利用者を設定できます。
 - 複数の キャビネット間でデータを共有することはできません。
- 属性
キャビネットでは、次の属性を設定することができます。

属性	説明
ID	オブジェクトを識別するIDです。
名前	キャビネットの名前です。
説明	キャビネットの説明です。
作成者	キャビネットを作成したユーザのUG識別子です。
更新者	キャビネットの設定を更新したユーザのUG識別子です。

属性	説明
作成日時	キャビネットを作成した日時です。
更新日時	キャビネットの設定を更新した日時です。
キャビネット管理者	キャビネットを管理することができる キャビネット管理者です。
キャビネット利用者	キャビネットにアクセスすることができる 一般ユーザのUG識別子です。
キャビネット管理者の制限数	キャビネット管理者の上限数です。
キャビネット利用者の制限数	キャビネットにアクセスできる 一般ユーザの上限数です。
ドロワの制限数	キャビネット内に作成できる ドロワの上限数です。
フォルダの制限数	キャビネット内に作成できる フォルダの上限数です。
文書の制限数	キャビネット内に作成できる 文書の上限数です。
オリジナルのコンテンツサイズの合計の制限数	キャビネット内にアップロードできる 文書のオリジナルコンテンツサイズ(ファイルサイズ)の上限数です。
モニタの設定数	キャビネット内に作成できる モニタの上限数です。
操作履歴削除設定	キャビネット内の操作履歴を削除できるようにするかどうかの設定です。
文書公開機能設定	<p>キャビネット内の 文書の公開を許可するかどうかの設定です。 次の値を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「有効」にする場合 <code>jp.co.fujixerox.kiun.repository.api.KnDocumentSharingSettingType.ENABLE</code> ▪ 「管理者のみ有効」にする場合 <code>jp.co.fujixerox.kiun.repository.api.KnDocumentSharingSettingType.ADMIN_ONLY</code> ▪ 「無効」にする場合 <code>jp.co.fujixerox.kiun.repository.api.KnDocumentSharingSettingType.DISABLE</code>
保管期限切れ文書の表示設定	キャビネット内の保管期限の切れた文書をフォルダ/文書の一覧画面や検索結果画面に表示するかどうかの設定です。
タイムスタンプ対象解除設定	タイムスタンプ対象の解除を許可するかどうかの設定です。
タイムスタンプ機能	タイムスタンプ機能を有効にするかどうかの設定です。
タイムスタンプ付与タイミング	<p>タイムスタンプ機能が有効な場合、文書アップロード時に自動でタイムスタンプを付与するかどうかの設定です。 次の値を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「自動(アップロード時)」にする場合 <code>jp.co.fujixerox.kiun.repository.api.cert.KnCertAttachTimingType.UPLOADED</code> ▪ 「手動」にする場合 <code>jp.co.fujixerox.kiun.repository.api.cert.KnCertAttachTimingType.MANUAL</code>

コラム

キャビネットの情報を参照、または変更できるのは、Accel Documents 管理者または、キャビネット管理者だけです。
ただし、キャビネット名は、アクセス権を持つすべてのユーザが参照できます。
キャビネットを追加、または削除できるのは、Accel Documents 管理者だけです。

キャビネットの下に登録できる入れ物です。

- 特徴
 - キャビネット管理者が作成し、管理します。
ただし、同じ名前の ドロワは、作成できません。
 - ドロワにアクセスできるのは、ドロワの読み取り権を持つユーザ、または、キャビネット管理者です。
 - ドロワの中に フォルダや 文書を作成できます。
ただし、同じ名前の フォルダや 文書は、作成できません。
 - ドロワ内の フォルダや 文書に対して操作できることは、それぞれの アクセス権によって異なります。
 - ドロワ内に フォルダや 文書が存在する場合は、ドロワを削除できません。
- 属性
ドロワでは、次のような属性を参照・設定することができます。

属性	説明
ID	オブジェクトを識別するIDです。
名前	ドロワの名前です。
説明	ドロワの説明です。
作成者	ドロワを作成したユーザのUG識別子です。
更新者	ドロワの設定を更新したユーザのUG識別子です。
作成日時	ドロワを作成した日時です。
更新日時	ドロワの設定を更新した日時です。
アクセス権	ドロワの アクセス権です。
フォルダの制限数	ドロワ内に作成できる フォルダの上限数です。
文書の制限数	ドロワ内に作成できる 文書の上限数です。
オリジナルのコンテンツサイズの合計の制限数	ドロワ内にアップロードできる 文書のオリジナルコンテンツサイズ(ファイルサイズ)の上限数です。

フォルダ

文書や他の フォルダをまとめて保管するための入れ物です。

- 特徴
 - フォルダにアクセスできるのは、フォルダの読み取り権を持つユーザです。
 - フォルダに書き込み(作成、更新)できるのは、フォルダの書き込み権、もしくは管理権を持つユーザです。
 - フォルダを削除できるのは、フォルダの管理権を持つユーザです。
 - フォルダの中に フォルダや 文書を作成できます。
ただし、同じ名前の フォルダや 文書は、作成できません。
 - フォルダの 基本クラスを継承して、新しい フォルダクラスを作成できます。
 - フォルダには、さらに次の種類があります。
 - 検索 フォルダ
検索条件を保持する フォルダです。
 - IM-Workflow連携 フォルダ
IM-Wokrflowによって作成された 文書を扱うための フォルダです。
- 属性
フォルダでは、次のような属性を参照・設定することができます。

属性	説明
ID	オブジェクトを識別するIDです。

属性	説明
名前	フォルダの名前です。
説明	フォルダの説明です。
作成者	フォルダを作成したユーザのUG識別子です。
更新者	フォルダの設定を更新したユーザのUG識別子です。
作成日時	フォルダを作成した日時です。
更新日時	フォルダの設定を更新した日時です。
アクセス権	フォルダのアクセス権です。

文書

テキストファイル、イメージデータファイル、DocuWorks文書やPDFなど、さまざまな形式の文書です。

- 特徴
 - 文書へのアクセス、およびバージョン情報の参照ができるのは、文書の読み取り権を持つユーザです。
 - 文書への書き込み（作成、更新）、および、バージョン情報の追加ができるのは、文書の書き込み権、または管理権を持つユーザです。
 - 文書を削除できるのは、文書のアクセス権に「管理」権を持つユーザです。
 - 文書には、必ずコンテンツ（ファイル）が含まれます。
 - ページ数を取得できるフォーマットは、セキュリティ設定されていないDocuWorks、セキュリティ設定されていないPDF、およびTIFFです。
 - 用紙サイズを取得できるのは、次のフォーマットです。
 - セキュリティ設定されていないDocuWorks
 - セキュリティ設定されていないPDF、解像度が設定されているTIFF、解像度が設定されているJPEG
 - チェックイン・チェックアウトを行うことで文書のバージョンを更新できます。
 - 文書のロック中に、文書およびバージョンを作成、更新、または削除できるのは、文書をロックしたユーザだけです。
 - 文書をアンロックできるのは、ロックしたユーザ、またはキャビネット管理者です。
 - 文書に対する操作履歴（いつ、誰が、何を行ったか）を記録します。
 - 文書には、さらに次の種類があります。
 - セキュア文書
ユーザのアクセス権によってダウンロードできるオリジナルコンテンツの扱いを変更できる文書です。
読み取り権しかないユーザは、PDF（編集不可フォーマット）のみ取得できます。
書き込み権があるユーザは、オリジナルの文書を取得することができます。
 - 文書、セキュア文書の基本クラスを継承して新しい文書クラス、セキュア文書クラスを作成できます。
- 属性
文書では、次のような属性を参照・設定することができます。

属性	説明
ID	オブジェクトを識別するIDです。
名前	文書の名前です。
説明	文書の説明です。
作成者	文書を作成したユーザのUG識別子です。
更新者	文書の設定を更新したユーザのUG識別子です。
作成日時	文書を作成した日時です。
更新日時	文書の設定を更新した日時です。

属性	説明
アクセス権	文書のアクセス権です。
コンテンツタイプ	文書のコンテンツタイプです。
コンテンツサイズ	文書のオリジナルのコンテンツサイズ(ファイルサイズ)です。
ページ数	文書のページ数です。
用紙サイズ	文書の用紙サイズです。
バージョン数	文書のバージョン数です。
ロックユーザ	文書をロックしているユーザのUG識別子です。ロック中の文書にだけ設定されます。
ロック日時	文書をロックした日時です。ロック中の文書にだけ設定されます。
保管責任者	文書の保管責任者です。
保管期限日	文書の保管期限日です。
ワークフロー案件	文書を作成した時のワークフロー案件です。IM-Workflowから作成した文書に設定されません。
文書利用案件案件	文書を利用しているワークフロー案件です。
タイムスタンプ対象フラグ	文書がタイムスタンプ対象かどうかです。
最新タイムスタンプ日時	文書に付与されている最新のタイムスタンプ日時です。
検証期限終了日時	文書に付与されているタイムスタンプの検証期限終了日時です。
ハッシュアルゴリズム	文書に付与されているタイムスタンプのハッシュアルゴリズムです。
検証ステータス	文書に付与されているタイムスタンプの検証ステータスです。



注意

オブジェクトの名前属性に設定できる文字には、以下の制約があります。

- UTF-8でエンコードしたときのバイト数が、1以上、255以下
- 制御文字を含めることはできません。
- 「\」、 「/」、 「:」、 「?」、 「*」、 「"」、 「>」、 「<」、 「|」を含めることはできません。
- 「.」（ピリオド）、半角スペースで終えることはできません。
- 次の文字列と同じ名前は設定できません（大文字と小文字は区別しません）
「CON」、 「PRN」、 「AUX」、 「NUL」、
「COM1」、 「COM2」、 「COM3」、 「COM4」、 「COM5」、 「COM6」、 「COM7」、 「COM8」、
「COM9」、
「LPT1」、 「LPT2」、 「LPT3」、 「LPT4」、 「LPT5」、 「LPT6」、 「LPT7」、 「LPT8」、 「LPT9」
- 次の文字列で始まる名前は設定できません（大文字と小文字は区別しません）
「CON.」、 「PRN.」、 「AUX.」、 「NUL.」、
「COM1.」、 「COM2.」、 「COM3.」、 「COM4.」、 「COM5.」、 「COM6.」、 「COM7.」、 「COM8.」、
「COM9.」、
「LPT1.」、 「LPT2.」、 「LPT3.」、 「LPT4.」、 「LPT5.」、 「LPT6.」、 「LPT7.」、 「LPT8.」、 「LPT9.」

セキュリティ定義

intra-mart Accel Documentsでは、「セキュア文書」クラスを利用することによって、文書に対するユーザのアクセス権に応じて、格納されているオリジナルコンテンツへのアクセスが制限することができます。

「セキュア文書」にどのような制限を行うかをセキュリティ定義で設定します。

- 特徴
 - セキュリティ定義が設定されたセキュア文書クラスの文書は、ユーザのアクセス権に応じて、格納されているオリジナルのコンテンツファイルではなく、編集不可能なフォーマットに変換したコンテンツファイルをダウンロードさせることができます (セキュアダウンロード機能)
 - セキュリティ定義には次の3タイプがあります。
 - PDF変換
文書に「読み取り権」を持つユーザがアクセスした場合、文書をPDFに変換します。
 - セキュリティ付きPDF
文書に「読み取り権」を持つユーザがアクセスした場合、印刷禁止やコピー禁止などのセキュリティ設定を行ったPDFに変換します。
 - 配布制限付きPDF
文書に対するユーザのアクセス権に応じて、配布制限（有効期限、ダウンロード制限）が可能なPDFに変換します。
 - セキュアダウンロードが可能な文書フォーマットは、「[IM-PDFAutoConverter for Accel Platform](#)」のサポート範囲に準拠します。
詳細は、「[IM-PDFAutoConverter for Accel Platformのリリースノート](#)」を参照してください。
- 属性
セキュリティ定義には次の属性を設定できます。

属性	説明
識別子	セキュリティ定義の識別子です。
定義タイプ識別子	セキュリティ定義タイプの識別子です。次の定義タイプを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ PDF変換の場合 <code>securityDefinition.kn:pdf</code> ■ セキュリティ付きPDF変換の場合 <code>securityDefinition.kn:securePdf</code> ■ 配布制限付きPDF <code>securityDefinition.kn:controlledDistributionPdf</code>
セキュリティ定義内容	セキュリティ定義で使用するパラメータです。

保管定義

intra-mart Accel Documentsでは、「文書」クラス、「セキュア文書」クラスに 保管定義を設定することによって、文書に対する保管設定に応じて、格納されているオリジナルコンテンツの保護や通知の設定ができます。

どのような制限を行うかを 保管定義で設定します。

- 特徴
 - 保管定義が設定された文書クラス、セキュア文書クラスの 文書は、保管設定に応じて、格納されているオリジナルのコンテンツファイルの保護や通知の設定ができます。デフォルトでタイムスタンプ対象にするかどうかも設定できます。

- 属性

保管定義には次の属性を設定できます。

属性	説明
識別子	保管定義の識別子です。
名前	保管定義の名前です。
保管定義内容	保管定義で使用するパラメータです。



注意

保管期限日が設定された文書が保管文書として扱われます。
保管期限日が設定されていない場合は、保管定義の各設定に応じた制限はされません。

ユーザ（サブジェクト）

目次

- [intra-mart Accel Documents](#)を利用するユーザの種類
- [intra-mart Accel Platform](#)の認可との対応

intra-mart Accel Documentsでは、intra-mart Accel PlatformのIM-共通マスタで管理される次のサブジェクト単位ごとに制御を行います。

- 会社／組織
- 組織＋役職
- パブリックグループ
- パブリックグループ＋役割
- ロール
- ユーザ

サブジェクトの詳細については、「[IM-共通マスタ 管理者操作ガイド](#)」を参照してください。
intra-mart Accel Platformの認可については、「[認可仕様書](#)」を参照してください。

intra-mart Accel Documentsを利用するユーザの種類

intra-mart Accel Documentsを利用するユーザは、次のように分けられます。

- **Accel Documents 管理者**
intra-mart Accel Documents全体を管理するユーザです。
キャビネットの作成、削除を行います。
Accel Documents 管理者は、キャビネットの管理者権限がありません。
作成したキャビネットの管理は、キャビネット管理者が行います。
intra-mart Accel Platformのロール「acceldocs_manager」を付与されたユーザです。
- **キャビネット管理者**
Accel Documents 管理者によって作成されたキャビネットに対して管理者権限を持つユーザです。
割り当てられたキャビネットのドロワ作成、属性、クラス定義を行います。
キャビネットには、必ずキャビネット管理者が設定されています。
- **一般ユーザ**
キャビネットやドロワを利用するユーザです。
オブジェクトに設定されたアクセス権に応じて利用できる機能が制限されます。
- **ゲストユーザ**
intra-mart Accel Documentsで公開された文書を利用するユーザです。
ゲストユーザ向けに公開された文書は、公開期限内に、取得することができます。

intra-mart Accel Platformの認可との対応

intra-mart Accel Documentsでは、intra-mart Accel Platformの認可機構に、次の操作対象（リソース）と操作内容（アクション）を設定します。

リソース（画面・処理）	アクションが許可されるサブジェクト
メンテナンス	「Accel Documents 管理者」
文書管理	「認証済みユーザ」
公開文書ダウンロード	「ゲストユーザ」、「認証済みユーザ」

認可の流れは、intra-mart Accel Documentsを利用するユーザの種類によって、次のようになります。

Accel Documents 管理者

認可機能で intra-mart Accel Platformのロール「acceldocs_manager」が付与されたユーザが判定されます。

判定で許可されたユーザであれば、「Accel Documents 管理者」として、intra-mart Accel Documentsにログインできます。

キャビネット管理者

認可機能で「認証済みユーザ」かどうか、また intra-mart Accel Documentsで キャビネット管理者の権限があるかどうか判定されます。

判定で許可されたユーザであれば、「キャビネット管理者」として、intra-mart Accel Documentsにログインできます。

一般ユーザ

認可機能で「認証済みユーザ」かどうかの判定と intra-mart Accel Documentsで キャビネットの利用者の権限があるかどうか判定されます。

判定で許可されたユーザであれば、「一般ユーザ」として、intra-mart Accel Documentsにログインできます。

ゲストユーザ

認可機能で「ゲストユーザ」または「認証済みユーザ」かどうか判定されます。

判定結果に応じて、「認証済みユーザ」か「ゲストユーザ」として、intra-mart Accel Documentsにログインできます。

タグ

intra-mart Accel Documentsでは、フォルダや文書にマークとなるタグをつけることができます。

- 特徴
 - タグには次の2種類があります。
 - 共有タグ
アクセス権を設定することができ、複数のユーザで共有することができるタグです。
共有タグから個人タグに変更することはできません。
 - 個人タグ
作成したユーザだけが利用することができるタグです。個人タグを共有タグに変更することができます。
 - フォルダや文書にだけタグをつけることができます。キャビネットやドロワにはタグをつけることはできません。
 - 共有タグ、個人タグともに一般ユーザが作成することができます。
 - タグの種類によって、削除できるユーザが異なります。
 - 共有タグの場合
共有タグのアクセス権で「管理」権限があるユーザが削除することができます。
 - 個人タグの場合
個人タグを作成したユーザが削除することができます。
- 属性
タグには次の属性を設定できます。

属性	説明
名前	タグの名前です。
説明	タグの説明です。
色	タグの色です。色の種類は次のとおりです。 青(blue)、黒(black)、灰色(gray)、緑(green)、ピンク(pink)、紫(purple)、赤(red)、黄(yellow)
個人タグフラグ	個人タグかどうかをあらわすフラグです。
作成日時	タグが作成された日時です。
作成者ID	タグを作成したユーザのUG識別子です。
作成者名	タグを作成したユーザの名前です。
更新日時	タグが更新された日時です。
更新者	タグを更新したユーザのUG識別子です。
更新者名	タグを更新したユーザの名前です。

通知

intra-mart Accel Documentsでは、操作に応じて、通知を行う通知ルールを設定することができます。

intra-mart Accel DocumentsのWebアプリケーションで提供しているモニタ機能は、通知ルールを利用して提供しています。

- 特徴
 - 文書の新規登録などの操作があった場合に、自動的に通知されます。
 - 通知の対象となる操作は、「文書のアップロード」、「文書のチェックイン」、および「文書の削除」です。
 - 通知する方法は、「メール通知」、「ポータルへの通知」、および「IMBoxへの通知」です。
 - 通知処理は、文書への操作と同じトランザクション内で行います。
通知処理中にエラーが発生した場合でも、文書への処理はロールバックされず、そのまま処理が実行されます。

- 属性
次のような属性を設定できます。

属性	説明
名前	通知の名前です。
作成日時	通知が作成された日時です。
作成者	通知を作成したユーザのUG識別子です。
作成者名	通知を作成したユーザの名前です。
更新日時	通知が更新された日時です。
更新者	通知を更新したユーザのUG識別子です。
更新者名	通知を更新したユーザの名前です。
有効フラグ	通知を有効か無効かをあらわすフラグです。
操作タイプ	通知対象となる操作です。 ユーザの操作によって、次の操作タイプを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 文書のアップロード の場合 <code>jp.co.fujixerox.kiun.repository.api.event.KnEventType.KnEventType.OBJECT_CREATED</code> ■ 文書のチェックイン の場合 <code>jp.co.fujixerox.kiun.repository.api.event.KnEventType.KnEventType.DOCUMENT_VERSION_CREATED</code> ■ 文書の削除 の場合 <code>jp.co.fujixerox.kiun.repository.api.event.KnEventType.KnEventType.OBJECT_DISUSED</code>
クラスの識別子	クラスの識別子です。
操作者	通知対象となる操作を行ったユーザの識別子です。

属性 説明

クライアントタイプ 通知対象となる操作を行ったユーザのクライアントタイプです。

クライアントタイプ

ロケール 通知ルールのロケールです。

ロケール

受信者 通知を受け取るユーザのUG識別子です。

受信者

受信者のメールアドレス メールでの通知の場合に、通知先となるメールアドレスです。

受信者のメールアドレス

通知タイプ 通知する形式です。

通知タイプ 次の操作タイプを設定します。

通知タイプ

- メールでの通知 の場合
`jp.co.fujixerox.kiun.repository.api.event.KnEventType.KnSubscriptionType.MAIL`
- ポータルへの通知 の場合
`jp.co.fujixerox.kiun.repository.api.event.KnEventType.KnSubscriptionType.PORTAL`
- IMBoxへの通知 の場合
`jp.co.fujixerox.kiun.repository.api.event.KnEventType.KnSubscriptionType.BOX`

通知期間 ポータルへの通知の場合に、ポータルに表示する期間です。

通知期間

文書公開

intra-mart Accel Documentsでは、文書にアクセス権を持たないユーザや、intra-mart Accel Platformのアカウントがなくても、文書にアクセスすることができます。

- 特徴

文書の公開には、次の2つの種類（公開種別）があります。

- ゲストユーザ向け文書公開
文書公開の通知を受信したユーザは、「ゲストユーザ」として、公開された文書にアクセスできます。
- 認証済みユーザ向け文書公開
文書公開の通知を受信したユーザは、intra-mart Accel Platformにログインした後、「認証済みユーザ」として、公開された文書にアクセスできます。



注意

キャビネットの属性の文書公開機能設定によって、次のように機能が制限されます。

- 「有効」が設定されている場合
対象の文書に書き込み権があるユーザであれば、文書の公開を行うことができます。
- 「管理者のみ有効」が設定されている場合
文書の公開は、対象の文書に管理権を持つユーザのみ行うことができます。
- 「無効」が設定されている場合
文書は公開できません。

- 属性

文書が公開されると、公開情報として次のような属性を取得することができます。

属性	説明
名前	公開情報の名前です。
公開用ID	公開用の識別子です。
バージョン識別子	バージョンの識別子です。
公開開始日時	文書の公開を開始する日時です。
有効期限日時	文書を公開する期限です。
受信者のメールアドレス	文書を公開した相手のメールアドレスです。
受信者識別子	公開情報を受信する受信者の識別子です。
作成者	公開した文書を作成したユーザのUG識別子です。
作成者名	公開した文書を作成したユーザの名前です。
更新日時	公開した文書が更新された日時です。
更新者	公開した文書を更新したユーザの識別子です。
更新者名	公開した文書を更新したユーザの名前です。

プリファレンス

intra-mart Accel Documentsでは、システム、キャビネット、またはフォルダなどオブジェクトに対する設定データを管理するためのプリファレンス機能を提供します。

- 特徴
 - プリファレンスは階層ツリー内に作成するノードの階層です。
設定データを指定したノードで、自由に階層構造を作成できます。
 - 各ノードには、文字列を「キー」とするマップ型でデータを持ちます。
- プリファレンスの使用箇所
intra-mart Accel DocumentsのWebアプリケーションでは、次の機能でプリファレンスを使用しています。
 - 「メンテナンス」→「アプリケーション設定」→「メールアドレス設定」で設定するメールアドレス情報
 - 「メンテナンス」→「タイムスタンプオプション設定」で設定するタイムスタンプ設定情報
 - キャビネット属性の最大コンテンツサイズ
 - キャビネット属性の最大検索結果数
 - キャビネット属性の保管期限切れ文書の表示設定
 - 属性定義の説明
 - 属性定義の候補値設定
 - クラス定義の説明
 - クラス定義のバージョン設定
 - クラス定義の属性表示設定
 - 検索フォルダの検索条件
 - メッセージテンプレート
 - 一覧表示設定の設定
 - メニュー表示設定の設定
 - IM-Workflow連携フォルダで使用するフロー定義の設定
 - ドロワの一覧表示設定
 - フォルダの一覧表示設定
 - セキュリティ定義の表示名
 - 保管定義の表示名



注意

intra-mart Accel Documentsで使用しているプリファレンス情報は操作しないでください。
intra-mart Accel Documentsが正しく動作しなくなる場合があります。



コラム

intra-mart Accel DocumentsのWebアプリケーションで使用しているプリファレンス情報の詳細については、「intra-mart Accel Documents/JavaDoc」を参照してください。

操作履歴

目次

- 文書管理画面の操作で記録される操作履歴
- キャビネット管理画面の操作で記録される操作履歴
- メンテナンス管理画面の操作で記録される操作履歴
- ジョブ実行で記録される操作履歴

intra-mart Accel Documentsでは、システム、キャビネット、またはフォルダなどオブジェクトに対する操作を操作履歴として記録し、参照する機能を提供します。

- 特徴
 - システムやオブジェクトに対して、操作ユーザが、いつ、どのような操作を実行したかが操作履歴として記録されます。
 - 記録された操作履歴は文書の操作メニューの操作履歴、キャビネット管理画面の操作履歴表示、メンテナンス画面の操作履歴表示で確認できます。

文書管理画面の操作で記録される操作履歴

一般ユーザやゲストユーザが文書管理画面で行った操作と各操作履歴表示画面で表示される操作履歴の対応は次のようになります。

操作名	文書の操作メニュー	キャビネット管理	メンテナンス
一覧表示	キャビネット選択		
	ドロワー一覧表示		
	フォルダ/文書一覧表示		
ドロワ操作	ドロワ属性表示		
	ドロワアクセス権表示		
	ドロワー一覧表示設定		
フォルダ操作	新規フォルダ作成	<クラス名>作成	
	フォルダ属性編集	<フォルダ>属性更新	
	フォルダ削除	オブジェクトのごみ箱への投入	
	フォルダ移動	<クラス名>移動	
	フォルダコピー	<クラス名>コピー	
	フォルダアクセス権編集	<クラス名>アクセス権更新	
	フォルダー一覧表示設定	一覧表示設定の割り当て	
文書操作	アップロード(新規文書作成)	文書のアップロード(新規)	<クラス名>作成 保管定義の設定
	ダウンロード(コンテンツ表示)	文書のダウンロード	文書のコンテンツの取得
	セキュアダウンロード(表示)	文書のセキュアダウンロード	文書のセキュアコンテンツの取得

操作名	文書の操作メニュー	キャビネット管理	メンテナンス
リダイレクトダウンロード(MS-Officeハイパーリンク)	文書の[セキュア]ダウンロード	文書の[セキュア]コンテンツの取得	
チェックアウト	文書のチェックアウト	文書のロック	
チェックアウト取り消し			
チェックイン	文書のアップロード (チェックイン)	文書のバージョンの作成	
バージョン一覧表示			
バージョンダウンロード	文書のダウンロード	文書のコンテンツの取得	
バージョン削除	文書のバージョン削除	文書のバージョンの削除	
文書操作履歴表示			
文書の公開	文書公開の開始	文書公開の開始	
公開文書一覧表示			
公開文書一覧ポートレット表示			
公開中止	文書公開の中止	文書公開の中止	
公開通知情報表示			
公開文書ダウンロード	文書のダウンロード(公開文書)	公開文書のコンテンツの取得	
公開文書セキュアダウンロード	文書のセキュアダウンロード(公開文書)	公開文書のセキュアコンテンツの取得	
保管文書一覧表示			
保管文書一覧ポートレット表示			
保管責任者変更	保管設定の変更	保管設定の変更	
保管期限日変更	保管設定の変更	保管設定の変更	
保管設定解除	保管設定の変更	保管設定の変更	
文書属性編集	文書の属性編集	<クラス名>属性更新 保管定義の設定	
文書削除	文書の削除(ごみ箱への投入)	オブジェクトのごみ箱への投入	
文書移動	文書の移動	<クラス名>移動	
文書コピー	文書のコピー	<クラス名>コピー	
文書アクセス権編集	文書のアクセス権編集	<クラス名>アクセス権更新	
文書属性出力			
文書タイムスタンプ付与	文書タイムスタンプ付与	文書タイムスタンプ付与	
アーカイブタイムスタンプ付与	アーカイブタイムスタンプ付与	アーカイブタイムスタンプ付与	
タイムスタンプ検証	タイムスタンプ検証	タイムスタンプ検証	
タイムスタンプ対象設定	タイムスタンプ対象設定	タイムスタンプ対象設定	
タイムスタンプ対象解除	タイムスタンプ対象解除	タイムスタンプ対象解除	

操作名	文書の操作メニュー	キャビネット管理	メンテナンス	
ワークフロー連携	IM-Workflow連携フォルダの作成		IM-Workflow連携フォルダ作成	
	アップロード申請			
	チェックイン申請			
	削除申請			
	文書のアップロード (ユーザプログラム)	文書のアップロード (新規)	<クラス名>作成	
	文書のチェックイン (ユーザプログラム)	文書のアップロード (チェックイン)		文書のバージョンの作成
	文書の削除(ユーザプログラム)		<クラス名>削除	
検索	属性検索			
	全文検索			
	検索結果表示			
検索フォルダ	検索フォルダ作成		検索フォルダ作成	
	検索フォルダ表示			
	検索フォルダ選択メニュー			
	検索フォルダ一覧表示 (検索フォルダ管理)			
	検索フォルダ編集		検索フォルダ属性更新	
	検索フォルダ削除		オブジェクトのごみ箱への投入	
タグ分類	タグ選択メニュー			
	タグ一覧表示 (タグ管理)			
	タグ作成		タグ作成	
	タグ編集			
	タグ削除		タグ削除	
	タグ共有化			
	タグアクセス権編集			
	オブジェクトへのタグ付加	文書のタグ編集		
	オブジェクトのタグ除去	文書のタグ編集		
	ごみ箱操作	ごみ箱表示		
ごみ箱から削除			<クラス名>削除	
ごみ箱から復元		文書のごみ箱からの復元	オブジェクトのごみ箱からの復元	
ごみ箱を空にする			<クラス名>削除	
通知(メール/ポートレット/IMBox)	通知先指定通知(メール/ポートレット/IMBox)			
	モニタ通知(メール/ポートレット/IMBox)			

キャビネット管理画面の操作で記録される操作履歴

キャビネット管理画面で行った操作と各操作履歴表示画面で表示される操作履歴の対応は次のようになります。

操作名	文書の操作メニュー	キャビネット管理	メンテナンス
表示	キャビネット選択		
	キャビネット管理者メ ニュー表示		
キャビネット操作	キャビネット属性編集		キャビネット属性の変更
	キャビネット管理者表示		
	キャビネット管理者追加		キャビネット管理者の追 加
	キャビネット管理者削除		キャビネット管理者の削 除
	キャビネット利用者表示		
	キャビネット利用者追加		キャビネット利用者の追 加
	キャビネット利用者削除		キャビネット利用者の削 除
	キャビネット使用量表示		
ドロワ操作	ドロワ一覧表示		
	ドロワ作成		ドロワ作成
	ドロワ削除		ドロワ削除
	ドロワ属性編集		ドロワ属性更新
	ドロワアクセス権編集		ドロワアクセス権更新
	ドロワ一覧表示設定		一覧表示設定の割り当て
	ドロワメニュー表示設定		メニュー表示設定の割り 当て
ごみ箱操作	ごみ箱表示		
	ごみ箱から削除		<クラス名>削除
	ごみ箱から復元	文書のごみ箱からの復元	オブジェクトのごみ箱か らの復元
	ごみ箱を空にする		<クラス名>削除
属性定義操作	属性定義一覧表示		
	属性定義作成		属性定義の作成
	属性定義表示		
	属性定義編集		属性定義の変更
	属性定義削除		属性定義の削除
	候補値設定		属性定義の候補値の変更
クラス定義操作	クラス定義一覧表示		
	クラス定義作成		クラス定義の作成
	クラス定義編集		クラス定義の変更 セキュリティ定義の割り 当て 保管定義の割り当て

操作名	文書の操作メニュー	キャビネット管理	メンテナンス
	クラス定義削除	クラス定義の削除	
	クラス定義属性表示設定	クラス定義の属性表示設定の変更	
	バージョン設定	クラス定義のバージョン設定の変更	
セキュリティ定義操作	セキュリティ定義一覧表示		
	セキュリティ定義作成	セキュリティ定義の作成	
	セキュリティ定義編集	セキュリティ定義の変更	
	セキュリティ定義削除	セキュリティ定義の削除	
	デフォルトのセキュリティ定義変更	デフォルトのセキュリティ定義の変更	
	使用クラス定義一覧表示		
保管定義操作	保管定義一覧表示		
	保管定義作成	保管定義の作成	
	保管定義編集	保管定義の変更	
	保管定義削除	保管定義の削除	
	使用クラス定義一覧表示		
操作履歴表示（統計分析）	統計情報取得		
	操作履歴取得		
	操作履歴削除	操作履歴の削除	
公開定義編集	公開定義編集	公開定義の変更	
メッセージカスタマイズ	メッセージテンプレート一覧表示		
	メッセージテンプレート更新	メッセージテンプレートの変更	
	置換文字列表示		
一覧表示設定	一覧表示設定一覧表示		
	一覧表示設定作成	一覧表示設定の作成	
	一覧表示設定編集	一覧表示設定の変更	
	一覧表示設定削除	一覧表示設定の削除	
	一覧表示設定使用数		
メニュー表示設定	メニュー表示設定一覧表示		
	メニュー表示設定作成	メニュー表示設定の作成	
	メニュー表示設定編集	メニュー表示設定の変更	
	メニュー表示設定削除	メニュー表示設定の削除	
	デフォルトのメニュー表示設定変更	デフォルトのメニュー表示設定の変更	
	メニュー表示設定使用数		

メンテナンス管理画面の操作で記録される操作履歴

メンテナンス管理画面で行った操作と各操作履歴表示画面で表示される操作履歴の対応は次のようになります。

操作名	文書の操作メニュー	キャビネット管理	メンテナンス
表示	テナント管理メニュー		
テナント操作	使用量表示		
キャビネット操作	キャビネット一覧表示		
	キャビネット作成		キャビネットの作成
	キャビネット削除		キャビネットの削除
	キャビネット属性編集		キャビネット属性の変更
	キャビネット管理者表示		
	キャビネット管理者追加		キャビネット管理者の追加
	キャビネット管理者削除		キャビネット管理者の削除
	キャビネット使用量表示		
テナント設定操作	アプリケーション設定		アプリケーション設定の変更
エクスポート/インポート進捗	エクスポート/インポート進捗表示		
タイムスタンプオプション設定	タイムスタンプオプション設定		タイムスタンプオプション設定の変更
操作履歴表示	操作履歴取得		
	操作履歴削除		操作履歴の削除

ジョブ実行で記録される操作履歴

ジョブの実行と各操作履歴表示画面で表示される操作履歴の対応は次のようになります。

ジョブ名	文書の操作メニュー	キャビネット管理	メンテナンス
ジョブ機能	メッセージ通知		
	不要な情報の削除		文書公開情報の削除(* 文書公開情報を削除した場合)
	削除済み文書のコンテンツ削除		
	削除済みキャビネットのコンテンツ削除		
	コンテンツの一括登録・更新	* 一括登録・更新で実行した処理	* 一括登録・更新で実行した処理
	アーカイブタイムスタンプ付与	アーカイブタイムスタンプ付与(* アーカイブタイムスタンプの付与が実行された場合)	アーカイブタイムスタンプ付与(* アーカイブタイムスタンプの付与が実行された場合)
	検証有効期限終了日時予告通知		

ジョブ名	文書の操作メニュー	キャビネット管理	メンテナンス
	セキュアコンテンツ作成		
	非表示操作履歴の一括削除		
	経費精算業務向けのキャビネット設定	属性定義の作成 保管定義の作成 クラス定義の作成 保管定義の割り当て 属性定義の割り当て	
	経費精算業務向けテンプレート の初期設定		